

# マカフィーのセキュリティソフトをご使用の環境で 「KEY が検出されません」と出る問題について

この度のマカフィーのアップデートに伴い、マカフィーのセキュリティソフトをご使用中のお客様の環境によっては、B-MOS のプログラム起動に必要なファイルが削除・隔離される場合があります。

削除・隔離されたファイルは元の場所に復元する事で、正常に動作するようになります。

また、今後の誤検知を回避するために、ご利用中のマカフィーセキュリティソフトにて、該当ファイルを除外設定する必要があります。

## 確認できている状況

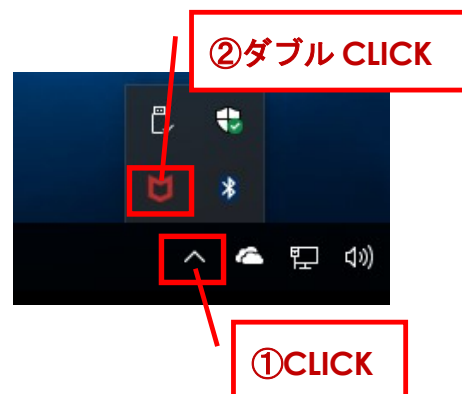
B-MOS のプログラム(平面図など)を起動しようとする時、「KEY が検出されません」とダイアログを出て、起動できない。



## 対処方法

ファイルを開いたり、実行したりする時に行われるセキュリティスキャン対象から除外する設定を行います。

1. タスクトレイの△記号をクリックし、次にマカフィーアイコンをダブルクリックして、セキュリティセンターを起動します。



2. ホーム画面左側のアイコンをクリックします。



3. [隔離項目]をクリックします。



4. 「隔離項目」の中に、「bms13htc.dll」「bms13htc2.dll」という2つのファイルが表示されていたら、一つずつファイルを選択し[復元]をクリックして下さい。



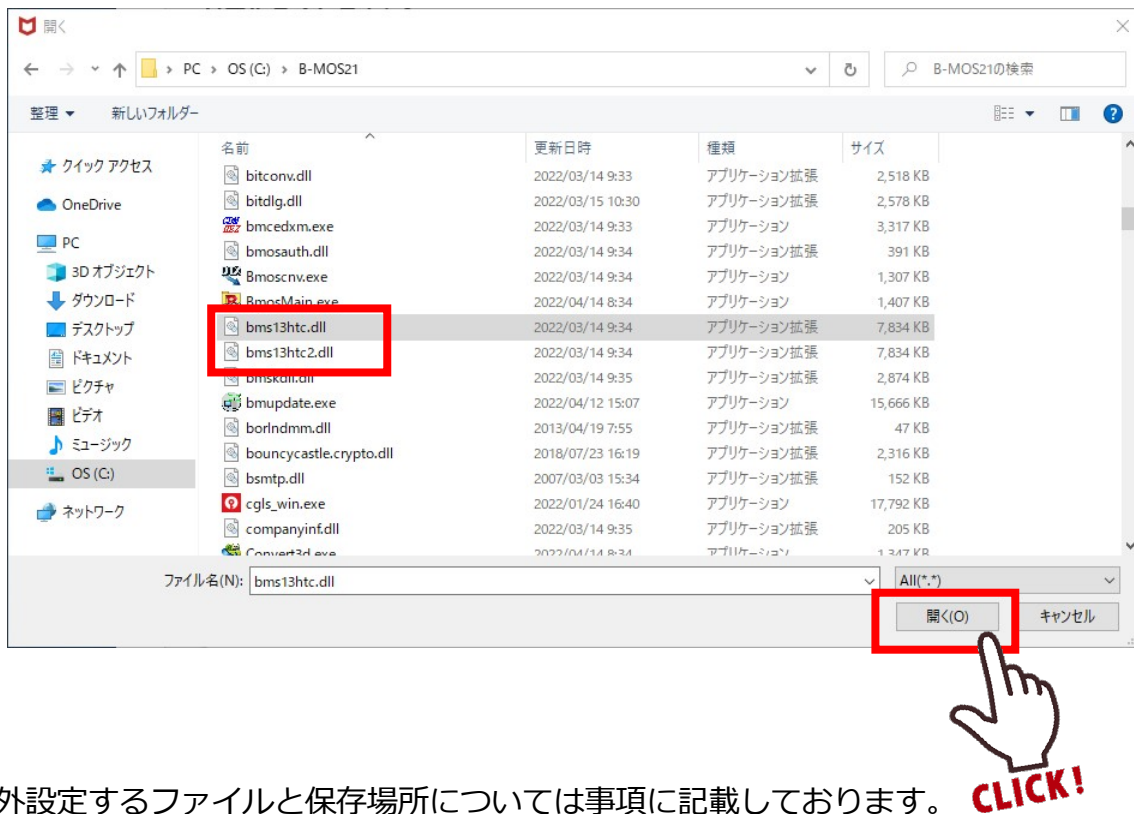
5. 再びホーム画面横のアイコンをクリックし、[リアルタイムスキャン]をクリックします。



6. 「リアルタイムスキャン」の除外するファイルにて、[ファイルの追加]をクリックします。



7. スキャン対象から除外するファイルを選択して[開く]をクリックします。



除外設定するファイルと保存場所については事項に記載しております。

- 除外設定するファイル（隔離されるおそれがあるプログラム）

ファイル名
bms13htc.dll
bms13htc2.dll

- ファイル保存場所

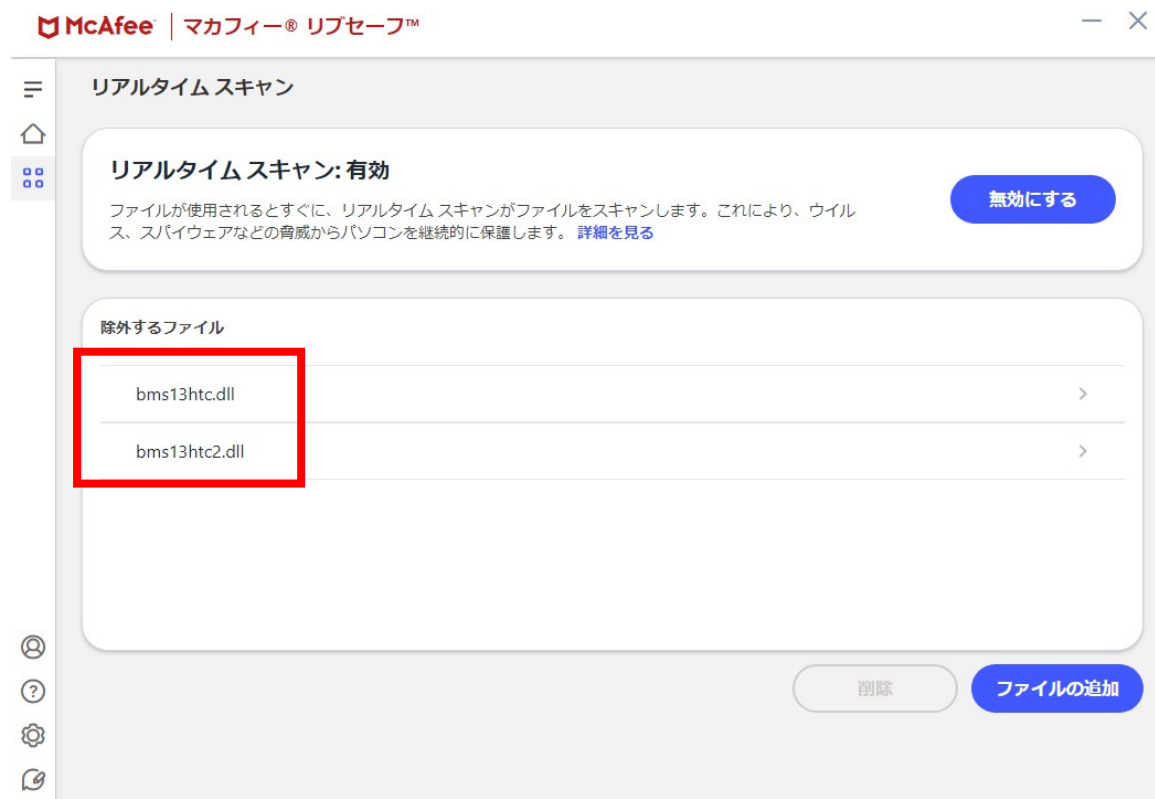
「C: ¥ B-MOS〇〇」フォルダー内にあるファイルを指定します。

Cドライブは、B-MOS のインストールドライブです。

(〇〇は B-MOS のバージョン数)

※フォルダー単位では指定できません。ファイル単位での指定のみとなります。

8. 「除外するファイル」に指定されたファイルが追加されたことを確認します。



9. 最後に、新たにマカフィーから除外されないように修正したデータを、  
お使いの B-MOS へネットアップデートして取り込みます。

※ネットアップデートでの修正が適用されるのは、現在 Ver20 もしくは 21 のみ  
となっております。

現状 Ver19 以下は修正したデータに置き換わりませんので、ご注意下さい。  
(ここまでの設定で B-MOS の起動は出来ます)

まず、事前にマカフィーの「リアルタイムスキャン」を一時的に「無効」にします。

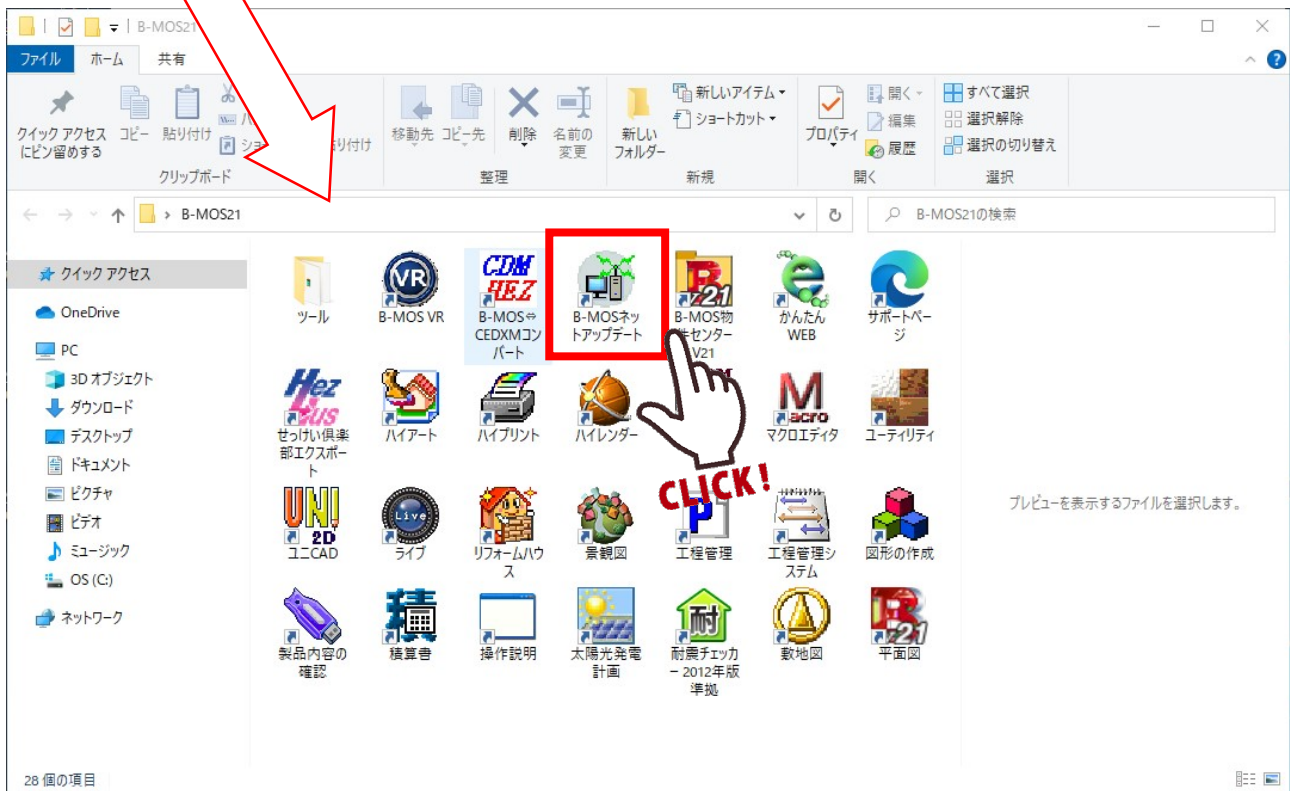
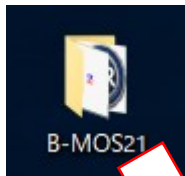




10. 「リアルタイムスキャン」を無効にして頂いた状態で、B-MOS ネットアップデートを行います。

デスクトップ上の B-MOS の黄色いフォルダをダブルクリックします。

フォルダの中にある「B-MOS ネットアップデート」のショートカットをダブルクリックし、ネットアップデートを開始します。



11. 「B-MOS ネットアップデート」が完了しましたら、除外設定作業は完了です。